

## 第 86 回日本健康学会総会

The 86<sup>th</sup> Annual Meeting of  
the Japanese Society of Health and Human Ecology

### プログラム

### Program

会長 中澤 港  
会期 令和 3(2021)年 11 月 13 日(土), 14 日(日)  
大会テーマ COVID-19 後の健康とは  
会場 Zoom によるオンライン開催  
事務局 神戸大学大学院保健学研究科パブリックヘルス領域国際保健学分野  
〒654-0142 神戸市須磨区友が丘 7-10-2  
電話 078-796-4551  
メール [jshhe86@sip21c.org](mailto:jshhe86@sip21c.org)  
ウェブ <https://annualmeeting.jshhe.com/>

## 行事日程

### 【学会長講演】

演者： 中澤 港(神戸大学)  
演題： 健康の意味  
日時： 2021年11月13日(土) 9:00-9:30

### 【特別講演1】

演者： 川端 裕人(作家・ノンフィクションライター)  
演題： 優生思想の標的としての「色覚異常」から「色覚多様性」の時代へ  
座長： 中澤 港(神戸大学)  
日時： 2021年11月13日(土) 9:30-10:30

### 【特別講演2】

演者： 内田 理(東海大学)  
演題： 災害時のソーシャルメディア利活用  
座長： 渡辺 知保(長崎大学)  
日時： 2021年11月13日(土) 13:30-14:30

### 【特別講演3】

演者： 中山 和弘(聖路加国際大学)  
演題： ヘルスリテラシー、情報の信頼性の確認と合理的な意思決定のスキル、Covid-19の予防行動  
座長： 坂本なほ子(東邦大学)  
日時： 2021年11月14日(日) 10:00-11:00

【シンポジウム】『アジアにおける「エコヘルス」研究の新展開』プロジェクト共催

組織者： 蔣 宏偉, ハイン マレー(総合地球環境学研究所)

日時： 2021年11月13日(土) 15:30-17:30

テーマ： 『東アジアにおける生態的健康観のひろがり』

趣旨： 大学共同利用機関法人人間文化研究機構広領域型基幹研究プロジェクト「アジアにおける「エコヘルス」研究の新展開」は、2016年に始まったプロジェクトです。人間文化研究機構に属する3つの研究機関(総合地球環境学研究所、国文学研究資料館、国立民族学博物館)が連携し、社会と環境が急速に変化している現代において、多様な視点から「人の健康」を考察することを目的としています。

この研究プロジェクトは「健康とはなにか」という問いから出発しました。人間にとって「健康」はある状態を意味しています。しかし、その具体的内容は厳密に定義できるものではなく、一種の大きな努力目標としか表現できません。現在、国際社会は「すべての人が健康に向かう」ことを共通の目標とし、各種の政策や取り組みが行われていますが、なにをもって健康とするかという「健康観」や、どのように健康を達成するかの方法論には多様な捉え方があり、それは地域や文化によっても異なります。私たちのプロジェクトが進めてきた東アジアの歴史的な健康観の研究は、東アジアにおける健康のあり方の多様性を示しています。

一方、健康を実現する方法には、近代医学の方法論とそれ以外のアプローチが競合してきました。近代科学、特に近代医学の登場により、人間(個人)の健康は社会や環境から切り離され、抗生物質、ワクチンなどによる病原体との闘いとなりました。しかし、近代科学の進展はその後、人間と環境のバランスを崩し、人間が引き起こす環境破壊を原因とする不健康を生じさせるにいたっています。

人の健康は元来、切り離されてあるものではなく、自然や社会とのせめぎあいの中に存在してきたものです。本プロジェクトが標榜するエコヘルス概念では、「人の健康」を日常の暮らしや生態環境、生業との関わりの中で模索しようとするものです。しかし、人間活動が地球の惑星としての限界を突破しつつある現在、エコヘルスは、人間と地域社会との関わりから、人間文明とそれを支える地球全体を含むプラネタリーヘルスへと概念的に拡張されつつあります。いまいちど、社会や環境のなかで、人間の健康を考える必要があります。本シンポジウムでは、6か年の研究成果を振り返り、健康観の多様なあり方について考えます。

プログラム:

15:30-15:40	解題：エコヘルスと健康観 総合地球環境学研究所 ハイン・マレー
15:40-16:00	演題1：民族誌からよみとく文化としての健康 国立民族学博物館 野林厚志
16:00-16:15	演題2：なぜ私たちは私たちが食べているものを食べるのでしょうか —中国海南島における食物摂取動機調査から 総合地球環境学研究所 蔣 宏偉
16:15-16:35	演題3：17世紀日本における健康観の変容 国文学研究資料館 入口敦志
16:35-16:50	演題4：「健康」の歴史研究の試み 東京都立大学 福土由紀
16:50-17:30	パネルディスカッション 総合地球環境学研究所 ハイン・マレー, 国立民族学博物館 野林厚志, 国文学研究資料館 入口敦志, 長崎大学 渡辺知保, 神戸大学 中澤 港

※シンポジウムも Zoom で実施しますが、内容は YouTube で同時公開されます。

## タイムテーブル

2021年11月12日(金)

18:00-20:00 理事会

2021年11月13日(土)

09:00-09:30 会長講演

09:30-10:30 特別講演1

10:30-11:15 一般口演1

11:15-12:00 一般口演2

12:00-13:00 評議員会

13:00-13:15 論文賞授賞式

13:15-13:30 休憩

13:30-14:30 特別講演2

14:30-15:30 ポスターセッション1

15:30-17:30 シンポジウム

2021年11月14日(日)

09:15-10:00 一般口演3

10:00-11:00 特別講演3

11:00-12:00 ポスターセッション2

## 一般演題口演プログラム

2021年11月13日(土)

10:30-11:15 一般口演1(国際保健)

座長 三砂 ちづる(津田塾大学)

- O1-1 経済連携協定による外国人看護師候補者への教育支援—看護における習熟の程度と教育支援との関連—  
○掛谷 和美\*, 藤田 千春\*\*, 出嶋 靖志\*  
\* 杏林大学大学院国際協力研究科, \*\* 杏林大学保健学部
- O1-2 米国との比較による日本における災害時の栄養・食生活支援体制に関する考察  
○柴村 有紀\*, 須藤 紀子\*\*  
\* お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科, \*\* お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系
- O1-3 COVID-19で早産・低出生体重児は減少したのか—ヨーロッパを中心とする文献から—  
○吉朝 加奈\*, 三砂 ちづる\*\*  
\* 東邦大学看護学部, \*\* 津田塾大学学芸学部

11:15-12:00 一般口演2(成長・発達・精神保健・人口)

座長 梅崎 昌裕(東京大学)

- O2-1 幼少期からの運動経験の有無が現在の女子大学生のパーソナリティの特性に及ぼす影響  
○金 美珍\*  
\* 埼玉純真短期大学
- O2-2 日本人男性の性行動—全国4,000名を対象としたインターネット調査より—  
○小西 祥子\*, 森木 美恵\*\*, 仮屋 ふみ子\*, 赤川 学\*  
\* 東京大学, \*\* 国際基督教大学
- O2-3 2020年1月から2021年6月の年齢調整死亡率および超過死亡の推定—COVID-19の影響はみられたか?—  
○逢見 憲一\*  
\* 国立保健医療科学院生涯健康研究部

2021年11月14日(日)

9:15-10:00 一般口演3(環境保健)

座長 小西 祥子(東京大学)

O3-1 西日本豪雨後の熱中症搬送者数について

○本田 靖\*, 岡 和孝\*

\* 国立環境研究所気候変動適応センター

O3-2 暑さ指数との関係にみる熱中症救急搬送数の地域性

○岡 和孝\*, 本田 靖\*

\* 国立環境研究所気候変動適応センター

O3-3 Environmental variable importance for under-5 mortality in Malaysia: A random forest approach

○PHUNG Vera Ling Hui\*, Kazutaka OKA\*, Yasuaki HIJIOKA\*, Kayo UEDA\*\*, \*\*\*, Wan Rozita WAN MAHIYUDDIN\*\*\*\*, Mazrura SAHANI\*\*\*\*\*

\* 国立環境研究所気候変動適応センター, \*\* 京都大学大学院地球環境学堂, \*\*\* 京都大学大学院工学研究科, \*\*\*\* Environmental Health Research Center, Institute for Medical Research, National Institutes of Health, Malaysia, \*\*\*\*\* Faculty of Health Sciences, Universiti Kebangsaan Malaysia, Malaysia

※PHUNG Vera Ling Hui 氏の発表は英語で行われます

一般演題ポスターセッション

2021年11月13日(土)

14:30-15:30 ポスターセッション1(老人保健, 看護, 介護)

座長 竹内昌平(長崎県立大学), 西岡笑子(防衛医科大学校)

P1-01 在宅で介護する高齢男性介護者への支援に関する文献検討

○小泉 有里菜\*, 仁科 聖子\*

\* 防衛医科大学校医学教育部看護学科

P1-02 医療施設における高齢者への身体拘束の実態および看護介入に関する文献検討

○森本 麻梨耶\*, 仁科 聖子\*

\* 防衛医科大学校医学教育部看護学科

P1-03 疾患をもつ高齢者への音楽療法がもたらす効果に関する文献検討

○大空 愛\*, 仁科 聖子\*

\* 防衛医科大学校医学教育部看護学科

P1-04 高齢者の術後せん妄発現リスクの予測性に関する文献検討

○山崎 菜々子

\* 海上幕僚監部衛生企画室

P1-05 特別豪雪地帯・過疎地域における高齢者の在宅看取りの可能性 —在宅看取りを可能とする地域の可否・延命治療希望の有無と関連因子—

○小山 歌子\*, 藤安 まゆみ\*\*, 長谷川 由美\*\*\*, 宇田 優子\*, 和田 直子\*, 瀧口 徹\*

\* 新潟医療福祉大学, \*\* 新潟県阿賀町役場, \*\*\* 阿賀町地域包括支援センター

P1-06 地域高齢者を対象とした栄養管理システムの開発

○櫻井 浩章\*, 高橋 寛子\*\*

\* 東京電機大学大学院, \*\* 帝京平成大学健康メディカル学部

P1-07 新型コロナ禍でのフレイル予防学習セミナーの試み

○西山 緑\*, 大森 玲子\*

\* 宇都宮大学地域デザイン科学部

P1-08 看護大学生における職業レディネス, 自尊感情, 統御感と学習上のバーンアウトの関連の検討 —2年次生を対象に実施した初回調査から—

○熊谷 たまき\*, 藤村 一美\*\*

\* 国際医療福祉大学, \*\* 愛媛大学大学院

P1-09 看護教育における男子看護学生が直面する障壁とその対処方法

○横谷 柊太\*, 佐井 旭\*, 山内 太郎\*

\* 北海道大学大学院保健科学院

P1-10 看護学生のシビリティを育むアクションリサーチ –オンラインでの活動展開–  
○金城 芳秀\*, 李 廷秀\*\*, 西川 浩昭\*\*\*, 佐伯 圭一郎\*\*\*\*  
\* 沖縄県立看護大学, \*\* 東京医療保健大学医療保健学研究科,  
\*\*\* 聖隷クリストファー大学看護学部, \*\*\*\* 大分県立看護科学大学看護学部

P1-11 Clinical Reasoning の概念分析に関する文献検討  
○熊谷 たまき\*, 藤村 一美\*\*  
\* 国際医療福祉大学, \*\* 愛媛大学大学院

2021年11月14日(日)

11:00-12:00 ポスターセッション2(健康教育, 疫学, 小児保健, 感染症, 地域保健その他)  
座長 山内 太郎(北海道大学), 金城 芳秀(沖縄県立看護大学)

P2-01 働く女性のウィメンズヘルスリテラシー啓発のための教育プログラム開発  
○西岡 笑子\*, 三上 由美子\*  
\* 防衛医科大学校医学教育部看護学科母性看護学講座

P2-02 ヘルスニューメラシー・テストの開発  
○三好 知美\*, \*\*, 渡邊 正樹\*\*  
\* 東京大学医学部附属病院, \*\* 東京学芸大学大学院

P2-03 難病法施行後初の臨床調査個人票集計による特発性血小板減少性紫斑病の全国疫学調査  
○島田 直樹\*, 村田 満\*\*, 羽藤 高明\*\*\*, 倉田 義之\*\*\*\*  
\* 国際医療福祉大学基礎医学研究センター, \*\* 慶應義塾大学医学部臨床検査医学,  
\*\*\* 愛媛県赤十字血液センター, \*\*\*\* 四天王寺悲田院

P2-04 子どもに対するマルトリートメントに関する研究 –保育士へのインタビュー調査から–  
○藤村 一美\*, 達川 まどか\*  
\* 愛媛大学大学院医学系研究科

P2-05 対象者に届いた COVID-19 に関する情報の吟味 –保育所における関係者の感染予防行動に関する観察所見–  
○小島 光洋\*  
\* 弘前大学医学部社会医学講座

P2-06 新型コロナウイルス感染症流行2年目における看護大学生の外出に関する意識調査  
○中村 愛依\*, 坂本 なほ子\*  
\* 東邦大学看護学部



P2-07 女子大学生の生活形態の変化と不安状態との関連 –新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)の健康への影響–

○鷺尾 彩恵\*, 佐井 旭\*, 山内 太郎\*

\*北海道大学大学院保健科学研究院

P2-08 新型コロナウイルス感染症の実効再生産数の推定とその注意点

○竹内 昌平\*, 山内 武紀\*\*

\*長崎県立大学看護栄養学部栄養健康学科, \*\*昭和大学医学部衛生学公衆衛生学講座

P2-09 長崎県離島地域における健康支援に関する調査

○植村 百江\*, 森川 真帆\*, 稲垣 佳映\*, 富賀 理恵\*, 田口 奈美\*, 永山 千尋\*\*, 山下 知輝\*, 久米 ころ\*, 飛奈 卓郎\*

\*長崎県立大学看護栄養学部栄養健康学科, \*\*早稲田大学

P2-10 過疎地域における訪問看護提供施設の設置状況の分析

○杉井 たつ子\*, 武田 文\*\*, 門間 貴文\*\*

\*東都大学沼津ヒューマンケア学部, \*\*筑波大学体育系

P2-11 札幌市におけるホームレス経験者の精神的健康度と生活習慣要因との関連性

○道中 将浩\*, 佐井 旭\*, 山内 太郎\*

\*北海道大学大学院保健科学院

P2-12 ピアサポート介入を用いた大学生の朝食習慣を改善する取り組みの評価

○岡部 千帆\*, 佐井 旭\*, 山内 太郎\*

\*北海道大学大学院保健科学院

## 一般演題報告要領

### 1. 発表時間

口演の発表時間は、各演題について、発表9分＋討論6分の15分です。ポスターセッションの持ち時間は1人5分(発表は概ね3分以内)です。

### 2. 口演形式

プレゼンテーションはZoomの画面共有を使って行っていただきます。配付資料がある場合は、事前にウェブサイトにアップロードしていただけるようにします。事前送付が困難な場合は、Zoomの「チャット」にファイルとしてアップロードすれば、参加者が各自ダウンロードすることができます。

### 3. ポスター形式

ポスターは横長の1枚紙(A3横, A4横など)としてご準備ください。事前にウェブサイトにアップロードしていただき、参加者がダウンロードして読めるようにします。ポスターセッションの時間は、報告者ごとにブレイクアウトルームを設定し(報告者は原則として1時間それぞれのルームにいてください)、参加者が自由に入退室できるようにします。座長は5分ごとにブレイクアウトルームを移動し、発表と質疑を進行してください。

### 4. サイトアクセス情報

アップロードに必要なアクセス情報は、報告者の方々にメールでお知らせします。口演の配付資料やポスターへのアクセス情報は、全参加登録者にメールでお知らせします。